



吉佐美にお住いの
山田 誠司さん・香さんの

むさし
長男 武司 くん (3歳10か月)

ぼくの名前はむさし！！
みんなからはむーちゃんって呼ばれてるよ♪
外で遊ぶことが大好きで、
自転車やサッカーをして遊んでいるよ♪
公園で見かけたら一緒に遊ぼうね！

みなさんのお宅のアイドルを募集しております。市役所へどしどしお寄せください！

これらの彩色部が剥落して
いることから、剥落止めを施
すことが今回の主な修復内容
です。

これらに彩色部が剥落して
いることから、剥落止めを施
すことが今回の主な修復内容
です。

先には造られた多聞天と持国
天の二天は、平安時代の作と
想定され、近世に入り増長天、
広目天の二天を再興した際に、
4軀合わせて彩色されたと考
えられています。

今回の修復は、昨年度に実
施した国指定文化財「大日如
來坐像」の修復に伴い、これ
に随侍する四天王像を対象と
した文化財保存事業です。

4月27日、市指定文化財
「四天王像」が京都国立博物館
内にある公益財団法人美術院
の工房へ修復の旅へと出発し
ました。帰還は来年3月末の
予定となっています。



市指定文化財 四天王像 (蓮台寺天神神社)

修復のため京都へ

本尊である「大日如來坐像」
が鎌倉初期の作と考えられて
いるのに対し、二天は前述の
通り平安時代の作と想定され、
市保護審議委員によると制作
時期に50〜100年ほどの開
きがあると考えられています。
それにも関わらず、なぜ大日
如來坐像にこの二天が随侍す
るようになったかは現在のと
ころ分かっていません。



作業中の様子

搬出作業は4月26日の午後
から行われ、梱包作業では彩
色の剥離が移動中に悪化しな
いように和紙で仮押さえしな
がら梱包し、車両に格納され
ました。

公益財団法人 美術院とは

美術院の起源は、明治31年
に岡倉天心が創設した「日本
美術院」に遡ります。古社寺
保存法に基づく国宝修理を
実施し、百年以上にわたり国内
の重要な文化財の保存に寄与
してきました。

京都・妙法院三十三間堂の
千躰仏(木造千手観音立像1
001軀)の大修理や、奈良
・東大寺南大門の木造金剛力
士立像2軀の修理は、美術院
を代表する事業です。

こうして培われた美術院の
「木造彫刻修理」技術は、昭和
51年に文化財保護法が定める
「選定保存技術」第1号として
選定されました。

このように、国内でも最高
水準の保存修理を施し、来年
3月には四天王像が蓮台寺・
天神神社へと戻ってきます。

こうした貴重な機会を契機
に、市民の皆さまの文化財に
対する保護・保存への関心を
高めていただければ幸いです。

取材協力

公益財団法人 美術院

問合せ先

教育委員会生涯学習課

☎ 250555

伊豆縦貫自動車道を早期完成しよう！！

「伊豆縦貫自動車道ロゴマーク」を利用して、伊豆縦貫自動車道の整備促進と活性化を県内外にPR
しましょう！！ご利用方法については、以下の市ホームページをご覧ください。

■ 下田市ホームページ <http://www.city.shimoda.shizuoka.jp/>



伊豆縦貫自動車道早期完成